

仕入ご担当者様<エッセイ>



〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-11
TEL 03-3518-4940 http://www.shobunsha.co.jp
★は 5000 部、☆は 1000 部です。

FAX03-3518-4944

配本申込み〆切 9月8日

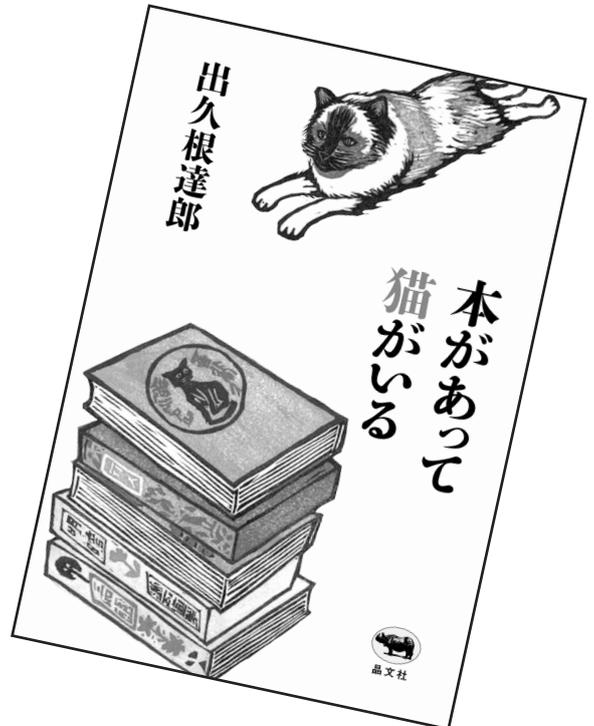
“人生の達人”が贈る珠玉のエッセイ 80 篇！

本があって猫がいる

出久根達郎・著 四六判並製 264 頁 予価：本体 1600 円＋税

街から本の姿が減っていく。
電車に乗ればスマホでゲーム。
余暇の楽しみはいくらでもある。
そんなちょっぴりさみしい現代に効く
ひと匙のスパイス。

懐かしい本やことば、思い出の人や食、
そして愛猫・愛犬との暮らし……
いまでは稀少となった感のある
「昔気質の物知りおじさん」にして
「生活巧者」の出久根さんが綴る
滋味あふれるエッセイ集。



いつのまにか、猫はいるけれど本が無い家庭が目立つようになった。電子書籍の時代である。電子書籍は、あれは本というまい。もっとも、猫も、生身の猫は飼うのが厄介だからという今時の理由で、ロボット猫を置くようになるかも知れない。ロボット猫を猫と呼ぶかどうか。(あとがきより)

出久根達郎（でくね・たつろう）

1944年、茨城県生まれ。作家。73年より古書店「芳雅堂」（現在は閉店）を営むかたわら文筆活動を行う。92年『本のお口よごしですが』（講談社）で講談社エッセイ賞を、翌年『佃島ふたり書房』（講談社）で直木賞を受賞。他に『古本綺譚』（平凡社）、『作家の値段』（講談社）、『七つの顔の漱石』（晶文社）、『雑誌倶楽部』（実業之日本社）、『短篇集 半分コ』（三月書房）等多数。

新刊委託申込書	取次・貴店印	☆☆☆	申込部数
			冊
		出久根達郎 著	展示方法
	ご担当 様		平台 棚差し

本があって猫がいる

出久根達郎 著

【エッセイ】四六判並製/264頁/予価：本体1,600円＋税
ISBN978-4-7949-6856-2 C0095 9月19日配本予定
晶文社営業部 TEL03-3518-4940